

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況等を
短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

JETAA スコットランド支部の活動視察で紅葉祭りを訪問

2023年10月14日、JETAA（元 JET 参加者の会）スコットランド支部主催のイベント「紅葉祭り」を訪問しました。

当イベントは、日本で秋に紅葉を楽しむ文化があることを踏まえ、会場であるスコットランド最大の日本庭園、カウデン城日本庭園で景色を楽しみながら、弓道や盆栽などの日本の文化を学ぶイベントです。当日はクレアロンドン事務所長の開幕のスピーチを皮切りに、弓道、相撲、盆栽、書道、紙芝居、コスプレ大会などさまざまな催しが行われました。特に浴衣の貸し出しは家族連れに大人気で、浴衣姿で会場内を歩く姿が随所で見られました。

会場である日本庭園への入場はチケットが必要ですが、JET 経験者やその家族、地域の方々をはじめとした多くの人が会場を訪れ、300 枚のチケットが売り切れとなりました。

当イベントは、近隣に住む方々 40 名程度がボランティアとして参加しており、地域から多くの支持を得ている人気のイベントです。スコットランド支部が今後も開催を続けることができるよう、当事務所から引き続き支援を行っていきます。



クレアロンドン事務所長からの挨拶の様子



相撲の様子



ニューヨーク事務所

「全米都市連盟年次総会」に出席しました

2023年11月14日から18日まで、「全米都市連盟（National League of Cities = NLC）年次総会」がジョージア州アトランタにて開催されました。

NLC は、ハワイ州を除く 49 州の州都市連盟との連携により、1 万 9,000 以上の市町村を代表する団体であり、自治体の政策責任者や職員に対し、政策情報や研修、ネットワークキングの場を提供する活動を行っています。

2023 年の年次総会には全米から自治体職員、市町村長、市町村議会議員ら、4,000 名を超える参加者が集いました。総会中は自治体に関心の高いトピックについて 40 以上のワークショップが開催され、自治体のレジリエンス（回復力）から公共安全、労働力開発の促進など、学びの選択肢は無限にあるように感じました。

クレアニューヨーク事務所はこれらのセッションに参加して情報収集や意見交換、自治体関係者との関係強化を図りました。また、JET プログラム経験者を中心に構成される団体「JETAA」の開催地支部である JETAA Southeast と意見交換を行いました。当事務所は、今後とも北米の地方政府の動向について発信してまいります。



ワークショップの様子



JETAA Southeast との記念撮影



シドニー事務所

「ニュージーランド地方自治体管理者協会 2023 年次会合」で 地方行政の課題把握とネットワーク強化

2023 年 11 月 22 日から 24 日まで、「Taituarā（ニュージーランド地方自治体管理者協会）の 2023 年次会合」が、ホークスベイにおいて開催されました。

会合では、「Thrive」をテーマに、不確実性が高まっている環境下でのリーダーシップ、生成 AI の利用機会とリスク、気候変動などによる自然災害への対応、ソーシャルインクルージョンと公正性についてなど、ニュージーランドの地方自治体の関心が高い講演やワークショップが行われました。

クレアシドニー事務所は会場内にブースを出展し、直近の活動状況の説明、日本とニュージーランド間の姉妹都市や日本各地の観光に関する情報の提供などを行いました。また、協会関係者やクレア主催の海外自治体幹部交流協力セミナーへ過去に参加いただいた方々との再会などを通じて、CEO などのニュージーランドの地方自治体管理者とのネットワークを強化にすることができました。

クレアシドニー事務所では、今後ともニュージーランドにおける地方行政の動向の把握に取り組むとともに、現地の地方自治体関係者との関係強化に取り組んでまいります。



パネルディスカッションの様子



ネットワーキングの様子



パリ事務所

ニースのクリスマスマーケットに出展！

2023 年 12 月 7 日から 2024 年 1 月 7 日まで、フランス南東部の都市ニースで開催されたクリスマスマーケット「Marché de Noël」において、ニース日本人会をマルセイユ日本国総領事館とクレアパリ事務所が支援する形で日本ブースを出展しました。

会場には 45 軒のブースが設置され、各ブースでは出展者の手作り製品やクリスマスデコレーション、食品の販売などが行われました。そのほかにも、クリスマスシーズンを彩るサンタクロースの帽子をかぶった人々による楽器の演奏が行われるなど、さまざまな催しにより会場は賑わいました。

日本ブースでは、ニース日本人会による生け花と書道、マルセイユ日本総領事館によるおみくじ、そしてクレアパリ事務所による日本酒の試飲と自治体パンフレットを活用した観光プロモーションを行いました。フランスのクリスマスマーケットでの飲み物といえば、ホットワインが思い浮かぶ中、来場者からは日本酒について「どうしてこんなに銘柄ごとに味が違うのか」「どこで購入できるのか」といった質問が多く寄せられ、日本酒への関心の高さと、その味わいを大に楽しむ様子が見られました。

初出展となった今回のクリスマスマーケットは、これまでの日本関連イベントとは異なる層の来場者に向けて日本の魅力を PR する大変貴重な機会となりました。クレアパリ事務所は、今後も関係機関との連携を図りながら、日本の自治体や地域の魅力を発信してまいります。



日本酒の試飲を行うクレアパリ事務所職員



会場の様子



シンガポール事務所

「マレーシア北大学セミナー」を開催

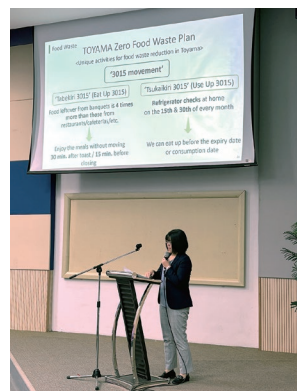
2023 年 11 月 27 日、マレーシア・ケダ州にあるマレーシア北大学で自治体の優良事例に関するセミナーが開催されました。本セミナーは、クレアシンガポール事務所職員と同大学の教員が、双方の優良事例を英語でプレゼンするもので、相互の知識・知見の交流を通じた自治体に関する知識の深化や教育を目的に 2014 年度より始め、今回で通算 6 回目の開催となります。

セミナーは 70 名ほどの学生・教員が参加し、マレーシア北大学の教員からは、ケダ州アロースター市が推進するアプリを用いたスマートパーキング（支払いのキャッシュレス化）の実例が紹介されたほか、当事務所からは、日本の自治体の防災対策や MaaS の取り組み、フードロス対策などについて、4 名の職員が各 20 分報告しました。

講義後のグループディスカッションには 20 名ほどの学生・教員が参加し、プレゼン内容についての追加の質問や、発表者や参加学生の出身自治体の紹介などが終始和やかな雰囲気で行われ、両国の自治体について相互理解を深める貴重な機会となりました。



グループディスカッション



プレゼンテーションの様子



ソウル事務所

料理体験を通じて日本の地方の魅力を発信！

2024年1月12日、クレアソウル事務所と韓国でも人気の料理教室であるABC Cooking Studio Koreaとが連携し、「食を通じて地方へのインバウンド促進イベント」の第23弾（2016年度開始時より通算回数）として、山形県の料理をテーマに開催しました。

参加者を募集したところ、すぐに定員の上限までの応募があり、日本の食への関心の高さがうかがわれました。当日は男女あわせて26名が参加し、その年齢層も20代から50代までと非常に幅広いものとなりました。料理作りを始める前には、山形県の魅力や観光情報について説明を行い、その後、山形県の郷土料理「芋煮」「どんどん焼き」「枝豆のあんかけ」の3種の料理作り体験をしました。楽しみながら料理を学んでいただくため、途中山形県に関するクイズ大会を行い、正解者には山形県の特産品をプレゼントして大変盛り上がりしました。また、山形県の地酒2種類を試飲し、参加者から「香りが良い」「おかわりが欲しい」などのお声をいただきました。

最後に自分たちで作った料理に舌鼓を打ち、山形県の魅力を満喫した様子でした。今後も食を通じて地域の魅力を発信して行きます。



山形県の説明



どんどん焼きを作っている様子



北京事務所

「中日地方冰雪文化交流イベント」に参加しました

2023年12月17日から19日まで、遼寧省瀋陽市において「中日地方冰雪文化交流イベント」（主催：遼寧省人民政府）が開催され、クレア北京事務所は在瀋陽日本国総領事館やJNTO北京事務所、在中国自治体事務所（北海道、岩手県、山形県、新潟県、富山県、長野県、神奈川県）とともに参加しました。

メインセッションでは「冰雪文化」をテーマに発表が行われました。在中国自治体事務所からは、スキーや温泉などのウィンタースポーツが紹介され、遼寧省からはウィンタースポーツの現状や課題、今後の展望が発表されました。

その後、遼寧省本溪市の現地視察が合わせて実施されました。200件以上の冰雪観光施設を有する同市は冰雪観光による経済振興に積極的に取り組んでおり、2022年には本溪市が遼寧省「第14次5カ年計画」観光業発展計画の重点観光プロジェクトに登録されました。

冰雪文化交流活動をきっかけとした人的・経済的な交流がますます盛んになることを願う声が日中双方から聞かれました。



メインセッション



スキーリゾート



経済交流課

自治体の海外活動事例などを紹介しています！

経済交流課では、自治体が行う海外活動（インバウンドや海外販路開拓など）の好事例を取材した記事や、各分野の専門家による執筆記事などを、WEBサイト（<https://economy.clair.or.jp/category/casestudy/>）で紹介しています。ぜひご覧ください！

◆インバウンド関連

- アフターコロナのNew Destinationドライブ旅行プロモーション（新潟県）について
- 千年後へつなぐ阿蘇市のハイエンドな観光地づくりへの挑戦
- 急速に回復する訪日客に対応するためのDX推進と旅ナカ&帰国後の越境EC整備
- 「オルレ」を活用した訪日外国人旅行者の回復と観光コンテンツ創出の事例

◆海外販路開拓関連

- 急速に回復する訪日客に対応するためのDX推進と旅ナカ&帰国後の越境EC整備（再掲）
- 企業への産業支援を通じた地域経済の活性化
- シンガポールへの販路開拓必勝法

◆国際協力関連

- 駒ヶ根市の「母子保健プロジェクト」～自治体間交流だけじゃない！「まちぐるみ」の国際協力の取組～
- 自治体の取りうる今後の国際協力の在り方について～神戸市が行うドミニカ共和国への梨栽培支援を通じて～

お問い合わせ Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp

〈2023年度掲載記事〉※2024年1月末現在



事例紹介ページ

交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナー（クレアシドニー事務所管内）を開催しました！

2023年12月3日から12月9日までの7日間、東京都と佐賀県江北町においてオーストラリアおよびニュージーランドの自治体や関係団体の幹部5名を迎え、セミナーを開催しました。東京都では、明治大学の木村俊介教授による日本の地方自治制度について講義を受けました。

江北町では、「小規模自治体の持続可能なまちづくり」のテーマに基づき、さが西部クリーンセンターを見学するとともに、洪水から町民を守る鳴江排水機場や、再生可能な原料の処理、再利用を手掛けている株式会社イワフチを見学しました。また、地域資源の活用に取り組むみんなの公園や山下牛舎、CLUB RIOなどを視察し、地域の方々から説明を受けました。

同町との意見交換会では、参加者からこれまでの訪問や視察を踏まえ、個別具体的な質問や意見が挙げられるなど、セミナー参加者、受入自治体共に気づきの多い機会となりました。



地域の方々との記念撮影（みんなの公園）



山田町長（最後列の左から2番目）らとの記念撮影（江北町議会議場）

多文化共生課

地域国際化協会職員国内研修（管理者向け）を開催しました

2023年11月17日に、地域国際化協会において管理職の立場にある職員の方を対象とした研修を集合形式で開催しました。今回は、「地域国際化協会職員の人材育成」をテーマに、グループワークと講義を行いました。

地域国際化協会は、地域の国際化を推進するうえで欠かせない存在であるため、職員にはさまざまな知識や多角的な考え方が求められます。今回の研修では、(特活)日本ファシリテーション協会にグループワークの企画・進行・講師をお願いしました。また、「職員の人材育成 モチベーションアップの方法」と題し、オフィス園崎 代表 園崎秀治氏に災害対応からみる人材育成やマネジメントにつながる考え方についてご講義いただきました。

参加者からは、「ファシリテーションが楽しかった」「学んだことを試してみたい」「災害研修の講師もお願いしたい」「受援力（助けを求めたり助けを受けたりする心構え）の必要性を感じた」「今後の業務に活かしたい」などの感想をいただきました。

2024年度も、アンケートでいただいたご意見を参考に研修を企画したいと考えておりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いします。



グループワークの様子

JET プログラム事業部

日本式就職活動の基礎ウェビナーを開催しました！

JET プログラム事業部では、JET プログラム参加者（JET 参加者）のキャリア支援事業を実施しています。その1つとして、2024年1月27日に「日本式就職活動の基礎ウェビナー」を開催しました。

本ウェビナーは、JET プログラム終了後に日本での就職を希望する JET 参加者などを対象に、日本での就職活動において必要となる情報を提供することを目的として開催したもので、当日は379人が出席しました。

ウェビナーでは、業界・企業分析の仕方、経歴書の作成方法、面接のマナーなどといった就職活動における日本独特の文化から、JET プログラムで得た経験のアピール方法まで、さまざまなトピックについて説明を行いました。出席者からは「役に立つ内容で有意義な時間になった」「JET プログラム経験者の体験談を聞くことができてよかった」などといった声が上がりました。

本セミナー出席者の一部は、2024年2月17日および25日にそれぞれ大阪と東京で開催する「JET プログラムキャリアフェア2024」で実践に臨みます。

キャリアの考え方の違い

■ 外国人材のキャリアの考え方

「航海をする船」
船長、航海士、コック、修理工など、明確な役割分担があり、目的地に着いたら船を降りるか、船を乗り換え新メンバーを加えて次の目的地に向かう。

外国人材
ジョブ型雇用・専門職

「農村コミュニティ」

種まき、畑の管理、収穫まで、リーダーの指揮のもと、メンバーがあらゆる役割を担い、チームワークを重視しながら秩序を守ってコミュニティを存続維持させる。

日本企業
メンバーシップ型雇用・総合職・終身雇用・年功序列

ギャップが存在

ウェビナーの様子